

## 滝馬地域実質化された京カ農場プラン

市町村名	地域名	(該当集落名)	当初作成年月	更新年月
宮津市	宮津	滝馬	令和5年3月	

### 1 対象地区の現状

a	地区内の耕地面積	11.40 ha
b	アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	8.07 ha
c	地区内における <u>80歳以上</u> の農業者の耕作面積の合計	1.00 ha
	i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.00 ha
	ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
d	地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
e	地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)		
dは、5年以内に引受意向のある面積		

### 2 対象地区の課題

課題
<p>当地区は昭和初期に区画整理した地域で充て越しの水田と用排兼用水路で構成されており、集積した一団の農地の中央部を縦断する市道側溝への排水のみのため水捌けが悪いことや鳥獣被害も拡大しており、耕作意欲の減退とともに作付けを断念する農家がある。</p> <p>さらに鳥獣被害対策についても、区域の農地周辺に近接する密集した住宅や市道及び農道により農地が分断し、一団の農地を囲む連続的な防護柵等の効果的な対策が困難なため、各ほ場を単位とした農家個々での対応となっている。</p> <p>また、現在80歳以上の耕作面積は1ha未満であるが、5年後には4倍に増加する見込みで、農地の半分を80歳以上が占める大変厳しい状況が予想される。こうしたことから耕作困難農地や放棄地の拡大が心配されるとともに、農地や農道・水路等の農業用施設の維持管理面について、地域全体で考えていく必要がある。</p>

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中核的担い手を中心に農地集約による農地利用の効率化を進める。